

(別紙1)

所要額調書 (三重県助産師養成所実習施設確保推進事業補助金)

【助産師】

記入例

実習施設(病院)名	ABC総合病院
-----------	---------

(金額は円単位)

行 番 号	実習 指 導 者 名	給与等 算定期間	A 基本給	B 諸手当等	C 事業費 (給与等の計) A+B	D 勤務 日数	E 1日当たり 事業費 C÷D	F 実習 日数	G 対象経費 E×F	H 基準 学生数	I 基準 単価	J 基準額 H×I	K 選定額 (GとJのうち 少ない方)	L 基本額 K×1/2	M 補助所要額 (Lの1,000円 未満切捨)
1	三重 松子	令和5年12月～ 令和6年11月	3,230,360	780,390	4,010,750	245	16,370	36	589,320	38.6	11,930	460,498			
2					0		0		0		11,930	0			
3					0		0		0		11,930	0			
4					0		0		0		11,930	0			
5					0		0		0		11,930	0			
計					4,010,750				589,320			460,498	460,498	230,249	230,000

(注) 1 A欄(基本給)・B欄(諸手当等)には、原則、実習事業終了月までの1年間の給与等の支給(見込)額を記入してください。

2 B欄(諸手当等)には、月額の基本給以外の手当や賞与等を記入してください。
なお、実績報告には支払根拠資料(給与台帳の写し等)を添付していただきますので、それと照合できるように記載してください。

3 E欄(1日当たり事業費)には、事業費(C)を勤務日数(D:年間245日と規定)で除した値(小数第1位を切り捨て)を記入してください。
※365日-(土日(2×52週)+祝日16日)=245日
なお、算定期間が1年間に満たない場合は、その期間の勤務日数(土日と祝日を除く平日の数)で除するものとします。

4 F欄(実習日数)・H欄(基準学生数)には、受入計画書(別紙2)で算出した数値を転記してください。

5 G欄(対象経費)には、1日当たり事業費(E)に実習日数(F)を乗じた値を記入してください。

6 J欄(基準額)には、基準学生数(H)に基準単価(I)を乗じた値を記入してください。

7 K欄(選定額)には、対象経費(G)の合計値と基準額(J)の合計値のうち、小さい方の値を記入してください。

8 L欄(基本額)には、選定額(K)に2分の1を乗じた値(小数第1位を切り捨て)を記入してください。

9 M欄には、基本額(L)の1,000円未満を切り捨てた値を記入してください。

申請時点で対象事業が終了している場合は、申請の際に支払根拠資料を添付してください。

(別紙2)

受入計画書（三重県助産師養成所実習施設確保推進事業補助金）

【助産師】

記入例

実習施設(病院)名	ABC総合病院
実習指導者名	三重 松子

行番号	養成所名	学年	実習科目	実習期間	A 実習 日数	B 実人数	C 延人数 A×B	D 最大受入 可能数	E 基準 学生数 C÷D	備考
1	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年8月27日～令和6年9月2日	5	5	25			土日除く
2	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月7日～令和6年9月11日	5	6	30			
3	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月15日～令和6年9月18日	4	5	20			
4	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月24日～令和6年9月27日	4	5	20			
5	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月12日～令和6年10月16日	5	5	25			
6	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月19日～令和6年10月23日	5	5	25			
7	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月26日～令和6年10月29日	4	6	24			
8	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年11月2日～令和6年11月6日	4	6	24			祝日除く
9							0			
10							0			
計					36		193	5	38.6	

- (注) 1 臨床実習指導者ごとに作成してください。
2 各指導者が担当する学生は重複しないように記入してください。
3 A欄(実習日数)には、学生1人あたりの実習(予定)日数を記入してください。また、その合計値は所要額調書(別紙1)にも転記してください。
なお、当該補助事業においては、原則、平日の日中に実習を行うことを1日として数えます。
4 C欄(延人数)には、実習日数(A)と実人数(B)を乗じた値を記入してください。
5 E欄(基準学生数)は、延人数(C)の合計値を最大受入可能数(D=5人)で除した値を記入してください。
また、所要額調書(別紙1)にも転記してください。
6 根拠資料として、養成所が作成した、この様式の記入内容と照合できる実習計画書(様式任意)を添付してください。
(もしくは養成所と補助事業者との受入協定書の写しなど)

【別紙5（役員一覧表）記入方法】

シメイ	氏名	生年月日				性別	備考1 (氏名の異体字など)	備考2 (担当課)	備考3 (法人等名)
		元号	年	月	日				

ハツリ シュウゾウ

服部 修造

S 40 01 01 M

・半角で1文字分のスペースを空ける
 ・記入例
 × ハツリ シュウゾウ
 ○ ハツリシュウゾウ

全角で1文字分のスペースを空ける

半角入力
 男:M 女:F
 月日は、一桁の場合は01、02と表示する。

該当があれば記入

記入不要

(別紙6)

所要額精算書 (三重県助産師養成所実習施設確保推進事業補助金)

【助産師】

実習施設(病院)名	ABC総合病院
-----------	---------

記入例

(金額は円単位)

行番号	実習指導者名	給与等算定期間	A 基本給	B 諸手当等	C 事業費 (給与等の計) A+B	D 勤務日数	E 1日当たり 事業費 C÷D	F 実習日数	G 対象経費 E×F	H 基準 学生数	I 基準 単価	J 基準額 H×I	K 選定額 (GとJのうち 少ない方)	L 基本額 K×1/2	M 補助所要額 (Lの1,000円 未満切捨)	N 補助金 既交付 決定額
1	三重 松子	令和5年12月～ 令和6年11月	3,230,360	780,390	4,010,750	245	16,370	36	589,320	38.6	11,930	460,498				
2					0		0		0		11,930	0				
3					0		0		0		11,930	0				
4					0		0		0		11,930	0				
5					0		0		0		11,930	0				
計					4,010,750				589,320			460,498	460,498	230,249	230,000	230,000

- (注) 1 A欄(基本給)・B欄(諸手当等)には、原則、実習事業終了月までの1年間の給与等の支給額を記入してください。
- 2 B欄(諸手当等)には、月額の基本給以外の手当や賞与等を記入してください。
また、記入内容と照合するため、支払根拠資料(給与台帳の写し等)を添付してください。
- 3 E欄(1日当たり事業費)には、事業費(C)を勤務日数(D:年間245日と規定)で除した値(小数第1位を切り捨て)を記入してください。
※365日－(土日(2×52週)＋祝日16日)＝245日
なお、算定期間が1年間に満たない場合は、その期間の勤務日数(土日と祝日を除く平日の数)で除するものとします。
- 4 F欄(実習日数)・H欄(基準学生数)には、受入実績書(別紙7)で算出した数値を転記してください。
- 5 G欄(対象経費)には、1日当たり事業費(E)に実習日数(F)を乗じた値を記入してください。
- 6 J欄(基準額)には、基準学生数(H)に基準単価(I)を乗じた値を記入してください。
- 7 K欄(選定額)には、対象経費(G)の合計値と基準額(J)の合計値のうち、小さい方の値を記入してください。
- 8 L欄(基本額)には、選定額(K)に2分の1を乗じた値(小数第1位を切り捨て)を記入してください。
- 9 M欄(補助所要額)には、基本額(L)の1,000円未満を切り捨てた値を記入してください。
- 10 N欄(補助金既交付決定額)には、県の交付決定額(変更した場合は変更後交付決定額)を記入してください。

(別紙7)

受入実績書 (三重県助産師養成所実習施設確保推進事業補助金)

【助産師】

実習施設(病院)名	ABC総合病院
実習指導者名	三重 松子

記入例

行番号	養成所名	学年	実習科目	実習期間	A 実習 日数	B 実人数	C 延人数 A×B	D 最大受入 可能数	E 基準 学生数 C÷D	備考
1	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年8月27日～令和6年9月2日	5	5	25			土日除く
2	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月7日～令和6年9月11日	5	6	30			
3	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月15日～令和6年9月18日	4	5	20			
4	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年9月24日～令和6年9月27日	4	5	20			
5	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月12日～令和6年10月16日	5	5	25			
6	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月19日～令和6年10月23日	5	5	25			
7	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年10月26日～令和6年10月29日	4	6	24			
8	○△看護助産専門学校	1	助産診断・技術学	令和6年11月2日～令和6年11月6日	4	6	24			祝日除く
9							0			
10							0			
計					36		193	5	38.6	

- (注) 1 臨床実習指導者ごとに作成してください。
2 各指導者が担当する学生は重複しないように記入してください。
3 A欄(実習日数)には、学生1人あたりの実習日数を記入してください。また、その合計値は所要額調書(別紙1)にも転記してください。
なお、当該補助事業においては、原則、平日の日中に実習を行うことを1日として数えます。
4 C欄(延人数)には、実習日数(A)と実人数(B)を乗じた値を記入してください。
5 E欄(基準学生数)は、延人数(C)の合計値を最大受入可能数(D=5人)で除した値を記入してください。
また、所要額調書(別紙1)にも転記してください。
6 根拠資料として、養成所が作成した、この様式の記入内容と照合できる実習実績確認書(様式任意)を添付してください。